

## 台湾の大学生らが本市を訪問



スタッフの説明を受ける台湾の学生



僑光技術学院の学生が現代美術館で記念撮影

10月に台湾の僑光技術学院、修平技術学院の学生や学校関係者が本市を訪問し、グリーン・ツーリズムや現代美術館、十和田湖、奥入瀬渓流を見学しました。

これらの訪問は、10月1日から4日までの日程で、市長が台湾を訪問し、グリーン・ツーリズムや十和田湖、奥入瀬渓流などの自然景観、現代美術館のPR活動を行った結果、実現したものです。

台湾の学生や学校関係者は、受け入れ農家の温かいおもてなしに感動し、今後も交流の輪を広げていきたいと笑顔で話していました。



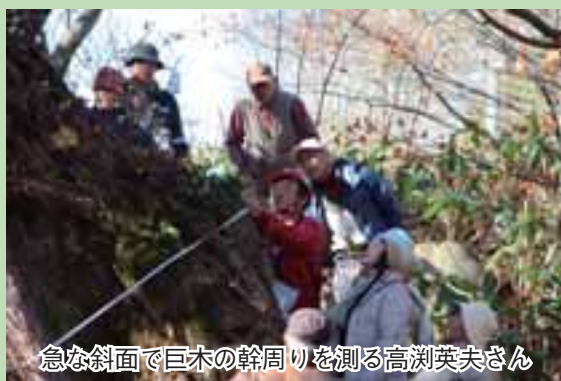
修平技術学院の関係者がゴボウ掘り、ホウレン草の種まき体験



問い合わせ先

農林課 ☎5111 内線312

## 東公民館主催第2回「ふるさとの巨木めぐり」



急な斜面で巨木の幹周りを測る高瀬英夫さん

11月9日に東公民館主催の第2回「ふるさとの巨木めぐり」が開催されました。全国巨樹・巨木林の会会員の高瀬英夫さんが十和田の森の案内人を務め、十和田湖・奥入瀬地区を中心に8カ所をめぐりました。石ケ戸のドロヤナギや子ノ口にある大豊のドロヤナギ、宇樽部のシロヤナギ、休屋のシロヤナギ、幌内山のブナなどを訪問しました。

奥入瀬渓流に程近い、国有林の中に生息する日本一のブナ「森の神」。その幹の太さ、全体にみなぎる力強さを見るものを魅了します。昔から、森の神のように3本に分かれた幹を持つ木には神が宿ると信じられてきました。参加者は巨木との出会いに感動していました。

東公民館では、来年度も多彩な内容で「ふるさとの巨木めぐり」を企画しています。



10月25日に保護柵を設置した日本一のブナ「森の神」

所在：十和田市奥瀬  
幹周り：6.01m 樹高：30.2m 樹齢：約400年

問い合わせ先

東公民館 ☎29000